

抗 HBsAg-Pre-S1 領域、ポリクローナル抗体

Anti-HBsAg Pre-S1 Domain, Polyclonal Antibodies

B型肝炎ウイルス (HBV) 表面抗原 (HBsAg) の全長はLタンパク質 (抗原) と呼ばれ、Pre-S1、Pre-S2、S、3つの領域から構成されています。S領域は単にHBsAgとも呼ばれます。感染者の血清中に多く見られるため、HBV感染の診断にも利用されています。一方、Pre-S1領域はHBVがヒト肝細胞を認識するドメインで、ヒト肝細胞にはPre-S1領域を認識する受容体があると言われていました。一方、Pre-S2領域はHBVの細胞内への侵入に係る他、肝細胞ガン発症にも関係すると言われていました。本製品はPre-S1を特異的に認識するポリクローナル抗体です。

一般特性 (共通)

作成動物 : 白色ウサギ
 状態 : 溶液 (生化学実験では不活性の保存剤が入っています)
 濃度 : 1 mg/mL
 免疫原 : Pre-S1 peptide (遺伝子型 C-Tag、又は Pre-S1 peptide (遺伝子型 D-Tag))
 精製 : Protein A アフィニティー精製 (BCL-ABP1-03 は Pre-S1 ペプチドで更にアフィニティー精製)
 保存 : 4°C (長期の場合は凍結融解を避け、-20°Cで保存下さい)
 用途 : ELISA (0.5~10 μg/mL)、ウェスタン (0.5~10 μg/mL)

製品番号

製品番号	製品名
BCL-ABP1-01	Anti-HBsAg-Pre-S1 Antibody, Poly-1
BCL-ABP1-02	Anti-HBsAg-Pre-S1 Antibody, Poly-2
BCL-ABP1-03	Anti-HBsAg-Pre-S1 Antibody, Poly-3, high affinity

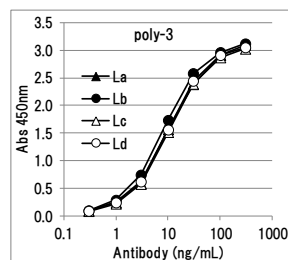
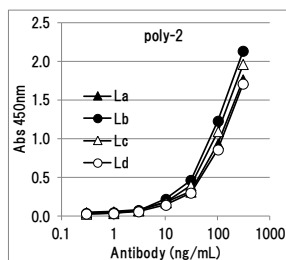
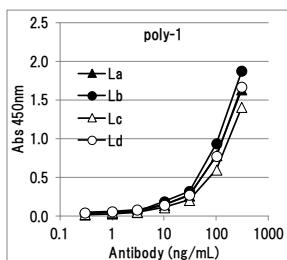
Poly-3 は他の抗体と比べ約 10 倍高活性です。

抗原特異性

これらの抗体は Pre-S1 のみを認識し、Pre-S2 や S 領域は認識しません。

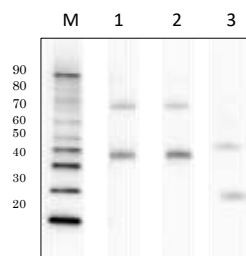
遺伝子型特異性

遺伝子型 A,B,C,D の L 抗原粒子に対する結合を見た所、これらの抗体は何れの遺伝子型も認識しました。



実施例 :

1. ウェスタンブロット



1. Antibody: anti-Pre-S1 (Code#: BCL-ABP1-01)

Antigen: HBsAg-L (Code#: BCL-AG01)

2. Antibody: anti-Pre-S2 (Code#: BCL-ABP2-01)

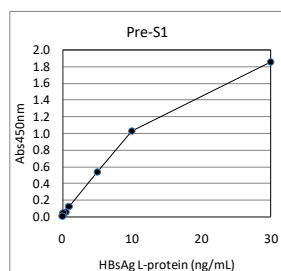
Antigen: HBsAg -L (Code#: BCL-AG01)

3. Antibody: anti-S antigen (Code#: BCL-ABPS-01)

Antigen: HBsAg -XT (Code#: BCL-AGX02)

注 : 2 本のバンドが見えますが、モノマーとダイマーです。

2. ELISA



ELISA 条件

固相化 IgG: anti-Pre-S1 antibody (polyclonal, code#: BCL-ABP1-01), 10 μg/mL

炭酸バッファーに溶解し固相化

ブロッキング: k-Block-e (Code#: BCL-BKHE-01)

検出 IgG: anti-Pre-S1 antibody (monoclonal, code#: BCL-AB-02, HRP-labeled): 25 ng/mL

Antigen: HBsAg L-protein (monoclonal, Code#: BCL-AG-01)

株式会社ビークル

E-mail: technical-support@beacle.com

HP: <http://www.beacle.com>